

さよなら原発集會に全国各地から17万人 原発ゼロの決断迫る熱気にあふれる



会」には、全国各地から17万人が参加し、原発ゼロを求め熱気にあふれました。

この集會は、ノーベル賞作家の大江健三郎さんなど9氏がよびかけ開かれ、大江健三郎さんや作家の瀬戸内寂聴さん、音楽家の坂本龍一さんなどが集會で、「原発より生命を大切に」することなどを訴えました。

大東議員は、利根沼田からの参加者といっしょに集會に参加し、デモ行進で「原発なくせ！再稼働反対！」をいっしょに訴えました。

オスプレイの飛行訓練中止を国に要請を

大東議員と井之川議員が市長に申し入れ

大東議員と井之川議員は18日、市長に垂直離着陸機MV22オスプレイの利根沼田上空での飛行訓練中止を求める要請書を市長に提出し、懇談しました。

市長は、「対応を先延ばしせず、利根沼田の町村長と連携して検討したい」と答えました。



多くの町内で祇園祭がおこなわれました

炎天下の下 みこしの徒御も

上沼須町、下久屋町、上久屋町、横塚町、下川田町、屋形原町、篠尾町などで、祇園祭が15日おこなわれました。



下久屋町、横塚町、下川田町、屋形原町、篠尾などでは町内をみこしがまわり、威勢のいいかけ声が暑さを吹き飛ばしていました。

2012年7月22日

NO. 313

日本共産党 大東のぶゆき議員活動地域後援会ニュース

やまびこ

発行所 沼田市下久屋町983 Tel.23-1519 部内資料



日本はいま、政治と社会の危機と新しい時代への希望が交差している岐路に立っています。アメリカ言いなりと財界・大企業本位の異常な政治から、「国民が主人公」の新しい政治への転換をめざし、新しい時代への希望を切り開くためにこれからも全力をつくします。

こんにちは 大東のぶゆき です

こんにちは。戦前の日本がアジア侵略に突きすすんでいた1922年（大正11年）7月15日に、「主権在民」の民主政治と侵略戦争反対の旗を掲げて日本共産党が創立されて、90周年を迎えました。

震災の復興に取り組む活動でも、原発からの撤退を求める活動でも、消費税増税や環太平洋連携協定（TPP）参加に反対する運動でも、日本共産党と幅広い方々との共同が広がり、期待の大きさに驚かされるとともに、「ここががんばり時」の思いで、さらにみなさんと力を合わせ、政治を変える時と痛感しています。



ぶらり散歩 めまた道 利根町 その五十六 根利 根利森林鉄道跡 小出屋 峠

木材の運搬に利用されていた「森林鉄道」の跡が、根利栗川林道に沿うように残されています。

素掘りのトンネル跡（写真右）の先には、コンクリートの橋台があるなど、当時のようすを示すものがいくつもあり、「よみがえれボードウィン実行委員会」では調査がつけられています。

日光裏往還（根利道）の沼田市と桐生市の境界となるのが小出屋（コデヤ）峠でした。



素掘りのトンネル跡

この峠には、むかし片品の人子どもをおんぶして、大間々に向かっていた時、小麦峠で大風のため背中の子どもが飛ばされ、落胆しとぼとぼ歩いていると、捨て子を見つけ、顔の雪をはらうと、風で飛ばされた自分の子だったことから、子どもと出会った場所を「コデアイ」と呼ばれるようになったという伝説が残されています。



現在の沼田市と桐生市との境界付近